

KONGO Living Lab Project (KLLP) 概要について

大学連携「KONGO Living Lab Project」



連携 の 概要

【経過/目的】

・金剛地区のエリア価値向上をめざすUR・市と、より進んだ地域/社会貢献、学生への生きた学びの確保をめざす両大学が、地区をフィールドとした4者連携を進め、地区の再生・活性化につなげる

【内容】

- ・両大学による地区をフィールドとした研究・実践
- ・UR・市によるバックアップ
- ・4者によるモニタリングの実施
- ・まちづくり会議等を通じた地域との共有・連携

持続可能な
取組と
なるよう検討

想定 する 効果

【たとえば…】

- ・研究・実践を通じた学生のまちづくりへの参画
- ・学生×地区住民による新たな取組
- ・コミュニティビジネスの創出
- ・地区が抱える課題解決に向けた研究成果の共有

など

エリア価値向上による地区の再生・活性化

※Living Lab :

「生活空間（Living）」「実験室（Lab）」を組み合わせた造語で、一般的には「新しい技術やサービスの開発」、いわゆるオープンイノベーションを「ユーザーや市民が生活する場で行う共創活動」

令和6年7月

4者で金剛地区のエリア活性化に向けた
包括連携協定を締結



目的

- 1.互いの発展と金剛地区のエリア価値向上に寄与
- 2.地区住民の生活の質の向上
- 3.持続可能で活力と発展性のある地域社会の形成

※協定書一部抜粋

大阪大谷大学及び阪南大学が進める地域社会への貢献、地域連携、人的交流及び学生・社会人の学び、UR都市機構及び富田林市が進める金剛地区の新たなまちづくりの実現に向け、4者が相互に連携し、協力することで、互いの発展と金剛地区のエリア価値向上に寄与し、地区住民の生活の質のさらなる向上を図るとともに、持続可能で活力と発展性のある地域社会の形成を目指すことを目的とする。

名称	役割
大阪大谷大学	<u>金剛地区をフィールドとした 研究・実践</u>
阪南大学	
UR都市機構	リソース(情報・場)提供 民間企業等とのパイプ機能
富田林市	リソース(情報・場)提供 地域等とのパイプ機能



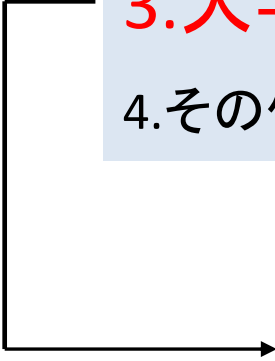
役割である金剛地区での研究・実践について、
各ゼミ活動の発表を本日第1部でご発表いただきます。

※協定書一部抜粋

4者は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の事項について、互いに連携し、協力するものとする。



- 1.金剛地区の活性化に関すること
- 2.金剛地区をフィールドとした課題解決に向けた実践的な教育・研究に関すること。
- 3.大学間の相互教育及び学生間の交流に関すること。**
- 4.その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること。



各ゼミ活動の発表後、第2部の
ワークショップにて**ご交流**いただきます！